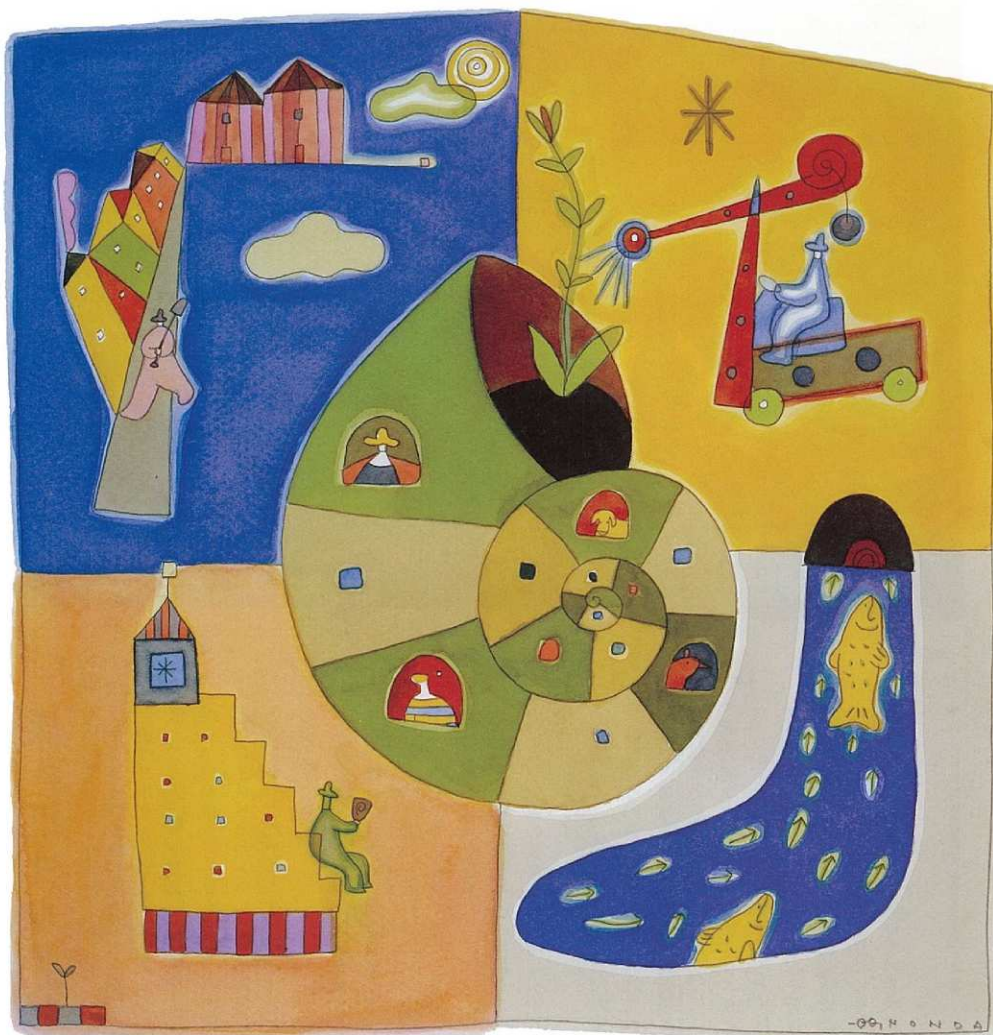


SOWER

新共同訳10周年

ソア=種まく人
No.11
December 1997
財団法人
日本聖書協会



神のことば
すべての人の
いのち

グローバルに聖書を 贈りましょう

1997年
12月1日
発売

日本初!
旧新約聖書の
和英対照

和文

新共同訳

英文

Today's English Version
第2版
(Good News Bible)



書名 中型和英対照聖書
目録番号 NITEV44DI
サイズ B6判
装丁 ビニールクロス装
軟表紙
ジャケット掛け
本体価格 4,500円

聖書のある生活シリーズ

あなたに贈るちいさな聖書



愛

結婚する二人に贈る聖書の言葉
選/三浦綾子 絵/葉 祥明

本体価格
476円



病に生きる

病む人、その家族と友人のための
聖書の言葉
選/日野原重明 絵/崎崎 忠

本体価格
500円



誠実

ビジネス界を生きる人の聖書の言葉
選/速水 優 写真/横山 匡

本体価格
500円

クローバーセット

クリスマス・受洗・献身・卒業・就職・婚約・
結婚などのプレゼントに。

新共同訳ハンディバイブル 1冊・讃美歌21 B6判 1冊・
クローバーバック 1個・カードレンズ 1枚



通常価格 8,450円 → 特別セット価格 7,500円
1997年10月1日〜1998年3月31日、限定500セット

日本聖書協会

〒104 東京都中央区銀座 4-5-1

電話 03-3567-1987(ダイヤルイン) FAX. 03-3567-4436

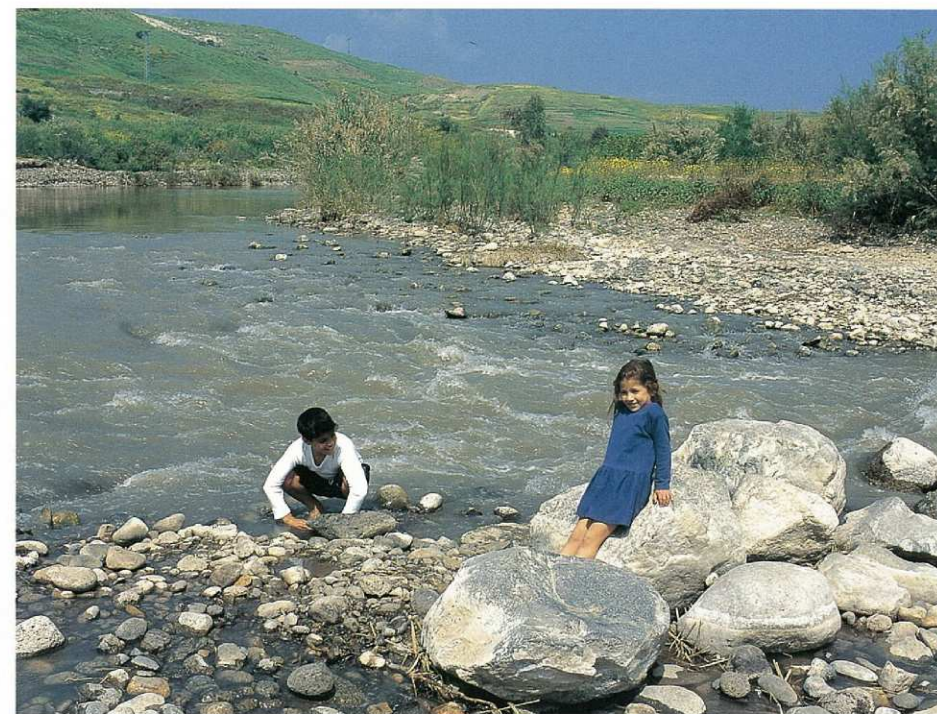
●ご注文はお近くのキリスト教専門書店、または全国の書店へ
(直接当協会にご注文戴く場合、別途送料がかかります)
●カタログ請求、お問い合わせは左記まで

SOWER
ソア No.11

1997年12月1日発行 [年2回6月・12月発行]
発行・財団法人 日本聖書協会 〒104 東京都中央区銀座 4-5-1 電話 03-3567-1980 振替 00160-2-18410



この雑誌は
エコマーク認定の
再生紙を
使用しています



深き川ヨルダン

ガリラヤ湖から約七キロほど南下した所のヨルダン川です。数百メートルほど下流にはヨルダン国の国境警備兵が立つ櫓が見えていますので、その付近からイスラエルとヨルダンの国境になります。これがイスラエルでは最大の川です。

しかし、イスラエルの歴史を画する重要な場面をヨルダン川は目撃しています。出エジプトしたイスラエルの民がヨシユアに率いられてヨルダン川を渡り、カナン入りを果たします。エリヤはエリシャの見守る中、ヨルダン川のほとりで火の戦車、火の馬に引かれて天に昇ります。

イエスがバプテスマを受けた所は、エリコ近くのヨルダン川と言われていますが、ガリラヤ湖の南のさほど遠くない場所とも考えられています。

慢性的な水不足に悩むイスラエルとパレスチナ人自治区とヨルダンでは、農業用水としてヨルダン川の水を分け合って使っています。そのため下流に行くにしたがって流れは小さくなり死海の水位は年々下がり続けています。

●ヨシユア(聖書一六四)列王下二四●エリヤ(聖書三三) 他

キリストと結ばれる人はだれでも、
新しく創造された者なのです。
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。

(コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章17節)

21世紀を目の前にしながら、世紀末的な問題ばかりが突きつけられて、新しい展望が開けない重苦しさを感じられる。
私は50年前の第2次大戦が終わった時、旧い体制が崩れて、焼け跡に裸で立たせられた。
そして人間の個人的社会的なエゴイズムが互いにぶつかり合って砕かれたあとに、何を土台として自分を築いていったらよいのかを問うたのであった。
その時、移りゆくものでなく、永遠に動くことのない、キリストにある神の愛の上に自分と社会を築く道が示された。
このことが今も変わらないことを、私は先年来日されたドイツのヴァイツゼッカー前大統領の「愛、それは政治の尺度でありうるか」という講演から、改めて知らされたのである。

大宮 溥

日本聖書協会理事長

CONTENTS

Sower
No. II
1997

2 新共同訳10周年

特集

4 共同訳聖書事業の意義

榎原康夫

6 「文語訳聖書」を礼拝に用いて

中村健一

7 「口語訳聖書」を愛して

藤村和義

8 「新共同訳聖書」の採用

黒木安信

9 聖書を学ぼう

NHK学園聖書講座

10 ホームページ開設

総主事室 佐藤邦宏

12 エッセー①

歴史接写

13 日本聖書協会の成立

八田良一

14 聖書図書館蔵書シリーズ①

パチカン写本

特集

新共同訳10周年

新しい翻訳の十年の歩みを感じて

編集部

「聖書 新共同訳」は、十八年の歳月をかけたトリック教会とプロテスタント諸教会のエキクメニズムの業として結実した。それは、単なる新しい翻訳の完成ではなく、二つに分かれたキリスト教会の歴史的な出来事であった。



「新共同訳10周年記念」の感謝礼拝が9月26日に銀座教会でもたれた。
大宮 淳理事長（左上）と佐藤邦宏総主事（同下）。



「日本聖書協会百年史」（一九七五年発行）の最後の章は、「共同訳聖書の実現」となっており、新しい翻訳に望みを託して結ばれている。しかし、今日、私たちは、その後この翻訳が出版までに十八年の時間を要し、大変困難な中で完成していくことを書き加えねばならない。

「こうして第一回共同訳聖書翻訳者協議会が同年（編集部注・一九七二年）六月二十七日から二十九日まで山梨県河口湖畔の日本出版クラブ研修センターで開かれ、翻訳者二十三名（カトリック七名、プロテスタント十六名）実行委員その他三十二名が出席、宮内総主事の経過報告があったのち、「翻訳について」は、予想する読者として「口語聖書は教会の公用の聖書たることを目標としたものであったが、今回の翻訳では教会の外にいる大衆に聖書を読ませるということが目的（UBSの標語「新しい読者に

神の言葉を」にそったもの）であるから、より徹底した大衆のための翻訳をめざしている。（後略）」その後、この翻訳方針が変更され、書名も「共同訳」から「新共同訳」に変わっていく。

一九八七年九月五日、解釈や教義、神学上の幾多の問題を乗り越えながら「聖書 新共同訳」は誕生した。翻訳者の数々が完成前後に相ついでこの世を去ったことは特に銘記しておきたい。文字通り翻訳に命を懸けたのである。また、この年は現存する最古の邦訳聖書であるギョウフ訳の「約翰福音之傳」（一八三七年発行）から百五十年目、最初の六十六巻の和訳聖書となる「明治元訳」（一八八七年発行）から奇しくも百年目の年であった。

「聖書 新共同訳」は日本聖書協会から発行する聖書としては第三番目の翻訳であり、延

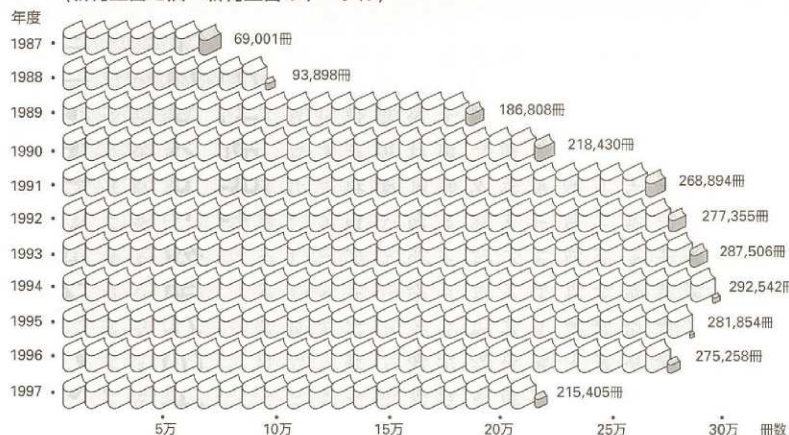
べ七十六名の翻訳者がその作業に関わった。その翻訳は、「礼拝・典礼に用いられる聖書として力強く、原文（テキスト）に忠実で、格調の高い文体、さらに朗読にもふさわしいもの」を目指した。この九月五日に発行された聖書は、文字が大きく、行間も広く大変好評であった。発行後、二か月足らずで六万九千冊を頒布している。共同訳聖書実行委員会の共同議長であった岸千年、平田三郎は毎日新聞紙上で次のように謝意を述べた。（一九八七年九月十三日付）

「一九九九年、カトリック教会とプロテスタント教会から選出された共同訳可能性検討委員会の「共同訳は必要かつ可能である」という答申を受け、以来十八年にわたり続けられた訳業はここに完成をみるにいたりました。十八年の歳月は長く、共同訳の完成を待ち望んでいた方々には大変ご迷惑をおかけしました。（中略）共同訳聖書の訳業の目的は、ただ単に新しい聖書の翻訳・出版にとどまるものではありません。この新しい聖書が普及し、この聖書を通して一人でも多くの人が聖書の使信に触れ、わたしたちの主イエス・キリストを知ることを望みとしています。（後略）」まさに、現代と未来へ述べ伝えられる新しい神のことばの完成であった。

あれから十年が経過した。「新共同訳聖書」の普及に、この十年、当協会の理事会、事務局はひたすら取り組んできた。

一九九七年九月二十六日金曜日午後四時、日本キリスト教団銀座教会で「聖書 新共同訳十

新共同訳聖書頒布冊数(1987年9月5日～1997年9月5日)
(新約聖書と旧・新約聖書のトータル)



周年記念」の感謝礼拝が捧げられた。厳肅な礼拝堂は、百四十三名の人々で静まりかえっていた。大宮淳理事長（日本聖書協会）は、講壇から「聖書は持ち運び自由な故郷である」とユダヤの思想家ゲルシヨムの言葉を引用して、「混沌の現代にあつて聖書により親しみ、これを自分のものとし、人を生かし、人を新たに生まれ変わらせる力ある神のことばを一人も漏れることなく社会の兄弟姉妹に運ぶ者となろう」と力強く語った。また、佐藤邦宏総主事は発行十周年の報告の前に、聖書協会世界連盟（UBS）のエリックソン総主事、同アジア・太平洋地区（ASPREC）の蔡総主事からの祝辞を感動的に読み上げた。そして、今年から日本で海外の聖書の製作を開始し、まさにこの十周年記念日の九月五日にアフリカ諸国へフランス語聖書二万五千冊を贈る船が出港した旨、報告がなされた。平和の使信としての神のことばが日本から発信されたことが、記念に花を添えた。先にみことばを与えられた者として、今後、ますます世界に貢献することが望まれている。

さて、「新共同訳」は「口語聖書」完成の十三年後から、翻訳の動きが開始した。その意味では、この十周年は、次の新たな翻訳の準備を覚える時でもある。「共同訳」から「新共同訳」の完成に費やした十八年とその後の十年は、カトリックとプロテスタントの共同翻訳の可能性と必要性を具体化する歳月であった。これからは、もはや「共同訳」とあらためて呼ぶ必要のない時代が到来することであろう。

共同訳聖書事業の意義

榊原康夫

日本聖書協会 常務理事

日本のキリスト教界の文脈における もう一つの説明

「新共同訳」が出て早十年もたったのかと驚きつつ、その間にキリスト教の諸教派にも学校にも受け入れられ定着してきたことに感謝いたします。それとともに、かねて気にかかっている一事に絞って記すことにします。

『聖書 新共同訳』「序文」に、「プロテスタント、カトリック両教会の共同事業」として公開できた感謝が述べられています。これは日本聖書協会の解説小冊子「共同訳聖書について」（一九七五年）にも『聖書 新共同訳について』（八七年）にも繰り返し返された解説で、後者ではその共同が「ローマ・カトリック教会の呼びかけ」に始まったとまで記されました。日本の一般常識がこの線に留まってきたのは当然です。確かにこれも一面の真理なのでしょうが、そのために、保守的伝道的な教派や団体が、カトリックが加わっているとか旧約聖書統編（外典）も含めたという理由で、「新共同訳」を敬遠する結果ともなっています。そこで、「共同」訳

の全体像とその根本理念とを改めて確認し直したいと思うのです。

聖書協会は一八〇四年、英国から始まりましたが、その創設時から「ブリテンと外国のための聖書協会」と名乗ったとおり、神の言である聖書を全人類に与えようという世界宣教の情熱によって今日まで歩んできました。その使命感から一九六〇年、聖書協会世界連盟（UBS）の総主事O・ペギン博士は重大な報告を提出したのです。すなわち、第二次世界大戦後十五年間の年間聖書頒布数は二十五年前のレベルのままであり、抜本的に方策を改めないかぎり世界の趨勢に対応できない、という警告です。その趨勢とは、一つは発展途上諸国の人口爆発、もう一つは共産主義諸国の世代交代によって、全く聖書を知らない人口が激増しつつあるという事実です。

この危機感からUBSは、一九六四年六月、オランダ聖書協会設立百五十年記念にドリーベル

ルヘンで、UBS総会に並行し、それとは別に、世界の三十九か国、二十四教派の代表七十名の参集を得て会議を開催しました。この教会協議会が出したのが『ドリーベルヘン宣言』です。

「私共は、今日まで教会人として、聖書をあらゆる人々に理解できるよう、その言葉と形をとらえて提供しようと努力を払ってこなかった怠慢をさげすめるものである。私共は、聖書協회가今日までなしてきた偉大な努力を忘れがちであった。今こそ、すべての教会は、もっと真剣にこの責任を自覚すべきであろう」。

この自覚をもって、「次代の教会と聖書協会に對して」勧告をしたのです。聖書協会とキリスト教会との協議（一）、その教会も「グリーク・オースドックス教会および東方教会」（四）、「ローマ・カトリック教会をも含めて、あらゆる教会」が協力して、最上の聖書本文を作成し

聖書 新共同訳 奉献式



1987年9月15日「新共同訳」の奉献式が東京会館で挙行された。

翻訳頒布すること（五）、などです。

カトリックの第二バチカン公会議が次のように言ったのは、これより一年後の六五年十一月十八日のことでした。

「もしも、そのような訳が時期を得、教会当局の同意の下に分かれた兄弟たちとの合作によってできるとすれば、それはすべてのキリスト者から使用されることになる」（『神の啓示に関する教義憲章』一六・二二）。

このように、「共同」とは聖書協会とキリスト

ン宣言」。

教会との協働、そして、そのキリスト教会もあらゆる教派を含むもののなのです。一九六八年六月に出された『聖書翻訳におけるインターコンフェショナルな協働のための指導原理』が、日本語では『聖書翻訳におけるプロテスタントとカトリックの共同作業のための標準原則』と訳されました（『聖書翻訳研究』二九・一九七〇年）。

この聖書協会と全キリスト教派との共同の学的作業によって産み出された翻訳底本（『ド宣言』五）が、旧約の『ピブリア・ヘブライカ・シュトゥットガルテンシア』（BHS）と新約のUBS「ギリシア語新約聖書」あるいはネストレ／アラント「ギリシア語新約聖書」第二七版です。ですから、これらに基づく個人訳やグループ訳も間接的に共同訳事業の恩恵に浴していると言っても差し支えないでしょう。

このように共同訳事業を本来の文脈に戻すことによって私の訴えたいことは、せんじ詰めれば二つのことに尽きます。

第一は、すべてのキリスト教会が、聖書事業は聖書協会の仕事としてお客様然としてい

るのでなく、聖書事業への使命感を持っていたべきだということなのです。

「およそ聖書は、世の救済について神がはかり知れない財宝を我々に与えているものである。私共はこの神の言葉を人々にとりつぐべき特権を付与されている。……そして、この努力を行うことは、全教会に負わされている責務でもある」（『ドリーベルヘン宣言』）。

私の属する日本基督教改革派教会は、信仰規準として『ウェストミンスター信仰基準』（一六四六・八八年、英国）を採用していますが、その中にはちゃんと聖書翻訳の義務が告白されています（信仰告白一・八、大教理問答一五二）。カトリックでは、ラテン語ウルガタ訳について決議したトリエンツ公会議第四総会（一五四六年）などが有名です。このように、歴代のキリスト教会は聖書の翻訳普及を教会本来の務めと自覚していました。それを、有志信徒による聖書協会の発足以来、二世紀の間に他人任せにしつつあったわけで、今回の共同訳事業によって教会は本来の使命に呼び戻されたのです。聖書協会は、その教会の聖書事業に専ら仕える僕と自認しています。

第二は、これほど大がかりな共同作業は、世界宣教の使命感に突き動かされて始まったという事実です。六〇年代の聖書を全く知らない人口の激増という危機感は、その後のソ連崩壊による東欧・旧ソ連の聖書需要によって更に深刻になっていきます。この現実を前にして、伝道に熱心な保守的諸教会や団体も共働されることを期待せずにはおられません。

UBSは向こう八十年間のため「神のことはすべての人のいのち」を標語に掲げています。これに賛同されるすべてのキリスト教会と団体によって共同訳事業が進展していくことを願っています。

「文語訳聖書」を 礼拝に用いて

中村健一

日本基督教団葉山教会牧師

明治の始め、プロテスタントの宣教師によってもたらされたキリスト教は、近代日本の黎明期に大きな役割を果たした。「文語訳聖書」が思想や文化に与えた影響はかりしれない。格調高い翻訳は歴史に残る名訳である。



現在も発行されている「文語訳」は旧約が明治訳、新約は正訳である。

私たちの葉山教会では、一九二四年の伝道開始以来今日に至るまで、一貫して「文語訳聖書」を礼拝に用いている。葉山と言えば洗練されたリゾート地のイメージが強いだけに、この事実はかなり鮮烈な印象を人に与えらるしく、さまざまなか所で「いまだき、なぜ『文語訳聖書』なのですか」と驚いたように尋ねられる。

この拙稿を日本聖書協会の方から依頼された際にも、当方の聞き違いでなければ「文語訳」を用いている教会はほかに知りませんの」とのことであつた。実際はほかにあるかも知れないが、わが葉山教会に白羽の矢が当たったということは、それだけ多くの方々に「文語の葉山」が認知されている。

ということであろう。

ただ「文語訳」を礼拝に用いている」と言っても、それは、講壇から司会者によって朗読される聖書が「文語訳」なのであって、教員が皆「文語訳」を持参して礼拝に集う、という意味ではない。教員がふだん読んでいる聖書は聖書協会「口語訳」である。したがって当然、説教も「口語訳」に基づいて語られる。礼拝以外の諸集会もすべて「口語訳」である。つまり、「文語訳」は講壇での朗読に限って用いられているのである。その意味で、今後は「新共同訳」の採用も大いに可能性が あることである。ただその場合には、一部の章節が「文語訳」と異なる点が問題である。これは前任地の千歳教会でも、「口語訳」から「新共同訳」に切り替えた際に痛感したことであるが、

葉山教会は日本基督教団の中にあつて、自覚的に改革長老教会の伝統を受け継ぐとしていた教会である。公同教会（エクレスシア・カトリカ）の形成は、健全な教派の教会（デノミネーション）の確立なくしてはありえない。それは偏狭なセクト主義とは全く異なつて、信仰告白の伝統を教団内に確立するための歩みである。この伝統継承の業の中心となるものは何といつても、聖書の正しい理解に立つ教理的な説教

であろう。説教者としての立場から言えば、講壇から「文語訳」が朗読されることによって、説教の中にも文語を引用することができ、会衆の聖書理解の幅がぐんと広がっているように思う。単に「過去も読まれていたのだから」との安易な理由によつてではなく、むしろ積極的な教会形成の業に端正な日本語である「文語訳」が、生きて働いていることを感じるのである。決してノスタルジーから読まれているのではない。

とはいえ、これからの若い世代には、ますます文語は難解なものになつてゆくことも事実である。葉山教会は若い来会者が多いので、そのための配慮はぜひとも必要なことである。礼拝司会を担当する長老でさえ、特に若手の長老は文語の表現に慣れないので、朗読にあつても事前に入念な下読みをし、不明の箇所は牧師に相談するなど、けっこう大変な思いをしている。何より、牧師である私自身が「一番の若手なのだから、それなりの覚悟と準備をもつて臨まなければならない。しかしそれでも私は、日本中にこういう教会が一つぐらいあつても良いのではないか」と思っている。とまれ「百聞は一見に如かず」と言う。興味のある方は礼拝に出席してみてもどうだろうか。

「口語訳聖書」を 愛して

藤村和義

日本基督教団渋谷教会牧師

「文語訳」から「口語訳」への移行は、社会的な事件であつた。「口語訳聖書」は、発行された一九五五年の『毎日文化賞』を受賞した。多くの人々に、幅広く受け入れられ、愛された。

私の教会は、「口語訳聖書」を使用していますが、私個人としては、「新共同訳聖書」や、日本聖書刊行会の「新改訳聖書」をよく用いています。私は青山学院大学でキリスト教概論を教えます。この大学では「新共同訳聖書」を用いていますので、よく読んでおり、すぐれた訳であると思っています。

私たちの教会は、渋谷駅に近く、青山学院にも近いので、大学生、高校生がよく来ます。また、いわゆる求道者が多く、礼拝出席者の二・三割を占めます。それゆえ、いつでも「あがない」「悔い改め」といったキリスト教独特の用語は、説明なしには使いませんし、現代的な訳に関心がないわけではありません。他方、年配者も多く、「口語訳」に親しんだ世代が多いことも事実です。しかし、私たちの教会から見れば、

「新共同訳」を使いにくいのは、ほかに理由があります。私たちの教会は、礼拝の説教のテキストとして読まれる聖書からメッセージを受け取るとともに、そのメッセージによつて浮き出た聖書の言葉、メッセージに密着にかかわる中心的な聖書の言葉そのものを、大事に記憶します。さらに、その聖書の言葉を常に記憶して、そこから力を得ようとしています。

過日、宮田光雄氏が青山学院大学で「みことばはわが足の灯——ロズンゲンの精神史」と題して講演をされました。ドイツの教会に、敬虔主義的な流れがあり、聖書の言葉を、ロズンゲンとして、毎日のみ言葉として選び出し、重んじる信仰的な伝統があることを語られました。これは、聖書のあつた長き言葉を、信仰的な標語として心に留め、その言葉によつて、あるいは励ましを受け、あるいは慰めを受けるものです。それによつて、神の恵みを受けることもあります。

ある聖書の言葉を記憶して、信仰生活の標語とすることを重んじるのは、私たちの教会の信仰的な伝統でもあります。聖書の言葉が文脈から独立して、その意味を持つことは、神学的におかしな解釈でない限り、可能であると思ひます。

「新共同訳聖書」は、聖書学的に正確に訳され、国語学的なチェックがなされたでしょうが、私たちが親しんだロズンゲンに選ばれるような名文句的なところが、いくらか機械的に訳されているように思えるところがあります。おそらく、訳者はそんなことはあまり配慮しなかつたのか、その名文句的な雰囲気欠けるとも言いたくなるころがあります。これは私にとって残念なことです。

そのような意味で、「口語訳聖書」にはすばらしい言葉があると思ひます。思ひつゝままにあげれば、「悩みの日にわたしを呼べ、わたしはあなたを助け」（詩篇五〇・一五）。「わたしを強くして下さるかたによつて、何事でもすることが出来る」（ピリピ四・一三）。「わたしたちは悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべてを物を持っている」（二コリント六・一〇）。また、個人的には、私は「口語訳聖書」の訳者の何人かは教えをうけたことを懐かしむ世代です。牧師の個人的な回顧主義、慣れた物を使うというだけの役員会の保守主義であれば、そのうちに変わり、「新共同訳」を採用するようになるでしょう。



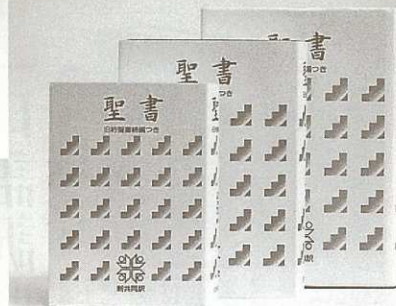
「新共同訳聖書」の採用

黒木安信

ウエスレアン・ポリテクス
浅草橋教会牧師

一九八七年、『聖書 新共同訳』は、誕生した。十年で、二、四六六、九一七冊が人々の手に渡った。

読者のニーズに応じて「新共同訳」はサイズや装いもいろいろ出版されている。



私たちの属する浅草橋教会は、主の恵みと諸教会の祈りに支えられ、今年、創立六十二年を迎えました。この場所は今から百二十年前に日本基督教浅草講義所が開設された所で、『新契約聖書』で知られる永井直治牧師が赴任されて今年丁度、満百年目となります。十二年前、教会創立五十年を感謝して現会堂を献堂した際、正面入口左手に「永井直治新契約聖書発刊の地」という碑が関係者のご理解を得て建てられました。そうしたこともあって、教会員の聖書への関心度は大きい方ではないかと思えます。

「新共同訳聖書」への取り組みは、発刊と同時に、婦人会が十冊ほど購入して備え付け、誰でも手にとって自由に読めるように配慮されました。その後、自分で購入して読む人も徐々に増えていったことです。

教会の公用として採用するにあたっては、役員会などで意見が自由に交わされ、新共同訳聖書委員の一人、木田献一先生をお迎えして有意義な学びの時も持たれました。また「新共同訳」と「口語訳」との訳語の違いや特色などが牧師より、折にふれて紹介されてきました。

そうした諸経緯を経て、一九九四年五月の教会創立記念日の聖霊降臨主日、公同礼拝を期して使用に踏み切り、今日に至っています。移行を円滑にするための一助として、中型聖書が五十冊常備されました。

その普及と浸透のためには八年前より、毎木曜夜の定例祈禱会前の約五十分間、教会員有志が自主的に「聖書素読会」を始め、現在は三回目を通読中です。また教会図書係による聖書販売の地道な活動もあげられます。

ある年には、主日礼拝の説教が聖書協会発行の「聖書愛読こよみ」の箇所と毎週のテーマに従ってなされました。皆が聖書の同じ箇所を読めるので、御言葉への共通意識が深まり話題も広がり、大きな力になりました。また「聖書通読表」などを用いた聖書全巻の通読も奨励されており、取り組む人が増えています。「新共同訳」によって、聖書により親しめるようになったとの

声が多く、喜ばしいことです。発刊に至るために長年、多大の労を惜しまれなかった諸氏に深く感謝します。

聖書の翻訳もまた時代の所産で、日本語聖書の翻訳は「ギユツラフ訳」以来、まだ百六十年を経たに過ぎません。今後、ますます特色ある日本語訳聖書が生み出されていくためには、これからの多くの祈りと尊い愛の労が必要とされることでしょう。神学的なこと、聖書解釈上の問題、聖書の言語のこと、日本語の問題等々、課題は続きです。ましてや、「共同訳」となればなおさらのことです。より一層、多方面での英知の結集が望まれます。と同時に、いつも忘れてならないことは、「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、」(二テモテ三・一六)という聖書それ自体の持つ尊厳性が重んじられなければならないことです。

その意味でも、長年、聖書を通読しつつ生活し、四十年、五十年と信仰に生きておられる信徒や牧会者の「新共同訳聖書」についての、率直な声を(例えば「聖書展」などの折にその地域でトーク・インを開くなどして)集約できたなら、貴重な意見もいただけるのではないのでしょうか。ともあれ、「新共同訳十周年」、本当におめでと〜うございます。

聖書を学ぼう

NHK学園聖書講座

●「聖書を読む」 身近な聖書の話から、その成立、歴史などわかりやすくまとめた入門コースです。わたしたちの日常生活に聖書の言葉は意外に深く浸透しています。学ぶことで、生活に新しい光が当てることにつながります。(受講料二二、五〇〇円)

●「旧約聖書を読む」 イスラエルと神ヤウエとの交わりを歴史、歴史、預言、文学等の書を通して学びます。イスラエルの苦難の歴史の中に神の約束がどのように展開していったか、よくわかります。(受講料二四、〇〇〇円)

●「新約聖書を読む」 旧約の世界全体を継承し、同時に旧約に対してイエスを中心とした新しい世界を展開しているのが「新約聖書」です。イエスの教え、行い、十字架の死と復活などを記した福音書、使徒言行録、パウロの手紙や黙示録から学びます。(受講料二四、〇〇〇円)

「それではわたしたちは、聖書から忍耐と励みを学んで希望を持ち続けることができるのです。」(ローマの信徒への手紙 一章四節) 励みに満ちた聖書の言葉を探求旅へあなたも出発しませんか。(お問い合わせは、NHK学園へ ☎〇四二五 一七一―三二五)

一九八七年九月五日発刊された『聖書 新共同訳』は、今年発刊十年の記念の年を迎えることになりました。日本聖書協会としては、明治二〇(一八八七)年に明治訳(後に大正六年、新約聖書が改訂され「文語訳聖書」となる)、昭和三十(一九五五)年に「口語訳」聖書を発行して以来、我が国の教会の公用聖書として当協会が発刊した第三番目の翻訳といえるようになります。

広く教会の内外で用いていたことを、心から感謝いたします。この十年の間、私ども日本聖書協会はいろいろなことを学ばせていただきました。何よりも、長く教会の伝統を異にしていたカトリック教会とプロテスタント諸教会の共同訳の発刊が、我が国におけるエキュメニズム、我々の一致運動、社会、一般の聖書に対する関心の増進にいくばくかの貢献があったとすれば、この

総主事室

『聖書 新共同訳』について

佐藤邦宏

上ない喜びです。さらに、翻訳の管理、さまざまな聖書の発刊など、いろいろな学芸のご多幸十年で、関係各方面のご協力に心から感謝いたします。

一九八八年、カトリック教会と聖書協会世界連盟の間で、共同訳の推進のために「標準原則」が相互に承認され成立して以来、約三十年になろうとしています。実は、今日「共同訳」という言葉が死語になりつつあるのです。というの

は、同教会が共同で翻訳し、共に用いるのは、当然なことと考えられるように、九六年初頭、六八八あった世界の翻訳作業の内、二十八パーセントはカトリック教会が組織的に参加しています。その他の翻訳作業も、カトリック教会の参加なしには考えられなくなりました。今、「共同訳」と明確に表明しているのは、「新共同訳」以外では、フランス語のTOB他数点にすぎません。

ホームページ開設



聖書協会は5月9日インターネット上にホームページを開発しました(www.bible.or.jp)。これまで聖書協会が蓄積してきた聖書に関するさまざまな話題、世界の聖書協会から日々送られてくる最新の情報などをお知らせしています。銀座の聖書図書館や各地の聖書展でしか触れることのできなかった貴重な聖書を写真でお見せしたり、各国語の聖書の朗読音声(聖書の一部)、初めて聖書を読む方にも興味を持っていただけるような聖書の背景の解説などもあります。聖書について知りたいことがあれば世界のどこからでも24時間ご利用いただけます(英語ページは検閲中)。まだサービスとしては十分とはいませんが、これから徐々に充実していきたいと思っています。是非一度聖書協会のホームページにお立ち寄りください。そしてどうぞe-mailでご意見やご要望をお寄せください。

e-mail jbs-info@alpha-web.or.jp
URL http://www.bible.or.jp

聖書とコンピュータ 能城一郎

エッセー ①

「国語は嫌いだ、数学がいい、答えはひとつだから：」と子供の時に妙な信仰を持ったのが間違いの始まり。読む本は「シートン動物記」と「エジソン」だけの小学生時代。教会学校に行っても記憶は、讃美歌が「赤い本」、聖書が「黒い本」。これだけ。中学生時代は、「原子爆弾」が憎くてアインシュタインの「相対性理論」を「おしえてほしい」と理科の先生にダダをこねる生徒でした。思春期の頃には「俺はあいまいな日本語が嫌いだ、だから、アメリカ人と結婚する！」との信仰告白をしてしまった（が、大和撫子に結婚をせまり現在に至る）。そうこうするうちに、湯川秀樹博士にあこがれ、大学に入り、日本のお家芸「量子力学」を専攻することになってしまいました。

こんな「国語嫌い」「あいまいさ嫌い」だった私が今では、牧師・伝道者である。「聖書を読み」聖書文学の世界を解き明かし、答えがありそうで、なさそうな、「あいまいな」説教を「確信をもって」神からのメッセージとして語っているのです。「イエス・キリストが人生のただひとつの答え」も真理、「人生は、あいまいだから楽しい」これもまた真理だな——と、パソコンのキーボードをたたいている私です。

「聖書を読む」と確かに不思議なことが起こるのです。悲しむ人、悩む人、また、国語嫌いな人、あいまいな人、あるいは、オカタイ人：どんな人でも「聖書を読む」と、人生に活力と確かな希望が与えられるのです。こんな話がある宣教師から聞きました。昔、ある大金持ちのクリスチャンが大新聞に「キリスト教信仰を持っているのに、貧乏になった人は私に連絡下さい。××億円差上げます。」と広告を出しました。その結果は、誰もこなかった。「聖書を読む」と人生にすばらしい事が必ず起こるのです。このような書物は「聖書」だけです。だから、聖書は「神

のことば」なのです。これが「あいまいでない」確かな事実です。だから牧師・伝道者は、いつも聖書から「確信を持って」説教を続けているのです。「J・ばいぶる」以来、「パソコンによる聖書研究セミナー」をしています。私は、いつも話します。「パソコンはただの道具。人がいなければ、何もしないただの箱。聖書研究の王道は、昔も今も変わりません。ただひとつ『聖書を読む』ことです。『聖書を読んでいる人』が、『聖書のパワー』を一番知っています」。

「パソコンPCによる聖書研究の方法」は、現在、世界同レベルです。が、宇宙創世理論、カオス、複雑系、あいまいの科学等、未知の「知」の究明に使用される「スーパー・コンピュータ（今のパソコンの数万倍の処理速度と記憶容量：SC）」が聖書研究の分野（聖書翻訳）に利用されると大きく変わるでしょう。SCは、まだ、昔の真空管式コンピュータのようにその姿は大きく、高価なために日本にもそう多くの台数はありません。人文科学の分野には、まだ、本格的な利用がなされていません。しかし、このSCも近い将来にはPCの様に個人がもてるようになると言われています。私は、このSCが「神のことば」聖書の日本語翻訳に仕え、日本と世界を大きく揺り動かす日を夢見ています。「J・ばいぶる」開発は、その夢への小さな一歩でした。PCにインターネットが加わり、現在は「ネットPC（NC）時代」と言われています。これからは、NCでの「聖書研究」が世界的潮流となり、また、PCの画面上で「聖書を読む」機会が多くなることは確実です。ともあれ、いつの時代も人はコッソツと真剣に「聖書を読む」べきなのです。私は、勤勉な国、日本に生まれて良かったなとも思います。

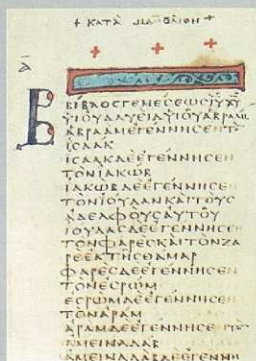


能城一郎（のしろ いちろう）
1954年生まれ。
単立・晚キリスト教会牧師。
コンピュータ聖書研究同好会代表。
聖書研究ソフト「J・ばいぶる」を考案する。

聖書図書館蔵書シリーズ—10

バチカン写本

4世紀
(ファクシミリ版, 1968年)
縦:27.5cm 横:27.5cm



バチカン写本は、4世紀の聖書のギリシア語大文字写本で、ヴェラム（子羊や子やぎなどの薄く上質な皮）に筆写されたコーデックス（冊子本）である。759葉（旧約617葉、新約142葉）が現存するが、旧、新約とも一部が欠けている。旧約の筆写者は2人、新約は1人、そして修正者が2人いたようである。

福音書と使徒言行録の本文は、200年頃の写本にも伝えられている、アレクサンドリア型本文の最も純粋なものである。

この写本の作成された場所についてはいろいろな説があるが、エジプトのアレクサンドリアが有力である。1448年以来写本はローマにある。聖書図書館は新約聖書のみを所蔵しているが、「聖書 新共同訳」完成のお祝いに、教皇ヨハネ・パウロⅡ世から贈られたものである。

歴史接写

八田良一
日本聖書協会常務理事

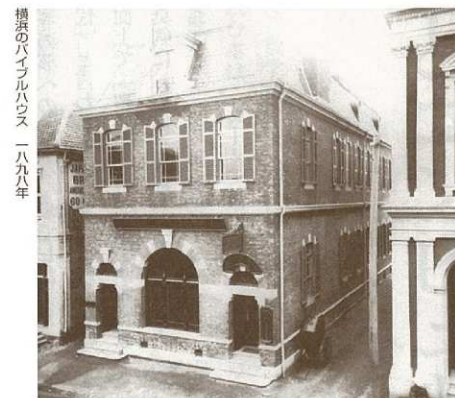
日本聖書協会の成立 (1)

二百数十年に及ぶ切支丹禁制の高札が、やっとこの国から撤去されたのは、一八七三（明治六）年のことであった。それも、明治政府の近代化政策を進めるにあたり、欧米先進国に対する体面上、一応高札を撤去したのにすぎなかった。だが、その時すでに海外では聖書の日本語訳が企てられ、日本伝道の門戸が開かれる機会を待つ人々がいたのである。その詳細は聖書の和訳史に譲るとして、日本伝道はまず聖書の翻訳から始められたと言ってもよからう。最初に日本へ渡来した宣教師たちは、いずれもまず聖書の和訳を志したのであった。日本伝道は、まさに聖書のみ言葉によって開かれたということを銘記しよう。

ところで聖書の翻訳は、言うまでもなく広く日本人に読ませるためであるから、当然聖書の印刷と頒布という聖書事業を伴うものである。日本で最初にその聖書事業に着手したのは、スコットランド聖書協会（NBS）であった。それは、切支丹禁制の高札が撤去されて間もない一八七五（明治八）年のことで、横浜に同協会の日本支部が設けられた。もともと実際に業務を開始したのは翌一八七六（明治九）年であったという。詳細な経緯は省くが、「日本聖書協会一〇〇年史」によると、一八七六年には米

国聖書協会（ABS）と、英国聖書協会（BFS）が、共に横浜に日本支所を設けて業務を開始している。当時は聖書協会という名称でなく、それぞれ北英国聖書会社、米英国聖書会社、大英国聖書会社と称した。こうして三つの聖書会社が日本の聖書事業の運営に当たることになったのである。

それから二年ほどして、北英国聖書会社と大英国聖書会社は一体の形をとって共同業務を行い、さらに一八八六（明治一九）年には事務合同を行った。また一八九〇（明治二三）年には三聖書会社は合同委員会を組織して共同経営を行い、同年七月一日、横浜海岸通りに聖書館を建設した。合同委員会は十三年間続いたが、一九〇四（明治三七）年、大英国、北英国聖書会社の神戸移転を機に終わり、以後は業務を二分して、名古屋以東は米英国聖書会社が、以西は前記二会社が担当した。



横浜のバプトルハス 一八九八年

JBS History / Formation of JBS / Hatta Ryoichi

編集後記

「十年一善」と申します。現代の年月の経過の早さには驚くべきものがありまして、今回の特集「新共同訳十周年」など、その最たるものではないでしょうか。思い起こせば新訳に十八年を要し、その後「共同訳」から「新共同訳」への翻訳方針や、回年名詞表記の変更、組版のこと、読み替え、等々多くの難問がありまして、その度々に、関係各位のご努力とご協力をいただいております。

一冊書 新共同訳一は協会発行の第三番目の翻訳です。この聖書翻訳の大きな意義として、カトリックとの共同翻訳作業であることが挙げられますが、皆さまのご賛成により、初めての日本の資金だけで翻訳された点も重要です。私たちはやつと十年前に初めて自らの手で聖書を持つことができました。

今日、聖書を求める世界の多くの声に先に聖書（のこし）を受けた私たちが、今度は応える番だと思いつつ特集にあたりました。

次号予告

（第12号） 1998年6月1日発行
特集 新共同訳十周年 part 2

◆ ソアは、会員のための情報誌です。継続してお読みになりたい方は、後援会・維持会にご加入ください。

● ソア 第11号 DECEMBER 1997
発行 財団法人 日本聖書協会
〒104 東京都中央区銀座4-5-1
電話 03-3567-1980
FAX 03-3567-4436
ホームページ <http://www.jbs.or.jp>
振替 00160-218410
泰成インストレーション 本印年一
デザイン株式会社デザインセンター
印刷 文芸堂印刷株式会社